



10月13日、認定式と発表会が行われ、とばーがーに新たに3つの仲間が加まりました。

丸善水産が開発した「浦村かきジュシーバーガー」(500円)には、浦村かきが使われており、鳥羽国際ホテルが作った「鳥羽の幸 潮騒バーガー」(1,500円)には、答志島産の白砂エビとちりめんじゃこが、さらに「M.O.L.F.Premium-Burger」(1万円)には、伊勢エビ、松阪牛、アワビ、フォアグラが使われており、これだとばーがーは合計10店舗で14種類が販売されることになりました。

「とばーがー」に新作が仲間入り



鳥羽市と愛知県田原市を結ぶ鳥羽-伊良湖航路の9月末での廃止が一時表明されていましたが、10月1日、存続が決定した伊勢湾フェリーの出発式が行われました。

新たな経営体制下での再出発となった伊勢湾フェリーの福武章夫社長は「新たな気持ちで地域に貢献できるように一層努力をしたい」とあいさつし、市長は「これからもフェリー航路を地域で守っていききたい」と激励しました。

「伊勢湾フェリー」新体制で船出



9月18日に開催された日本生活支援工学会大会「生活支援を目的とした工学技術」アイデアコンテストにおいて、鳥羽商船高等専門学校の学生が応募した「近未来の携帯救急医療支援端末」が最優秀賞を受賞し、制御情報工学科の福井隼人さん(5年)、中嶋亜美さん(3年)、松本知佳さん(3年)が表彰されました。

受賞となったのは、救急時の要救護者の病状を把握し、適切な処置を提案するとともに、救急隊員への引継ぎも行う「救急の鎖」の機能を携帯端末に集約したアイデアです。アイデア実現の第一弾として、携帯電話で市内公共施設に設置されている約100台のAEDの中から最寄りのAEDを検索できるようになりました。

携帯電話用 鳥羽市AED検索システム
(docomoのみ対応) <http://sakamaki-lab.h01.jp>



鳥羽商船高専生が最優秀賞を受賞!!



あいにくのお天気となった10月9日、恒例の市民大運動会が市民体育館で行われました。

会場には約1,600人の市民が参加して、力の入った町内会対抗の綱引きやむかで競走、会場を和ませたパン食い競走や大玉ころがし、かわいい幼稚園児のダンスなどたくさんの種目が行われました。また、応援席には、のぼりや大漁旗が用意され、会場全体が一緒になって大いに盛り上がりました。

体育館に響く大声援!